

ひめすいの挑戦はつづく

姫路市立水族館は、姫路大博覧会のパビリオンのひとつとして建設され、1966年6月に開館しました。たくさんのおウミガメを飼育していたことから「カメの水族館」として広く知られるようになり、呼び名は親しみを込めて『ひめすい』と呼ばれるようになりました。今年、ひめすいは開館60周年を迎えました。企画展の第1会場では、当館がこれまで挑戦してきた調査・研究にスポットをあて、ひめすいの歩みを紹介します。第2会場では、これまでの企画展の中から、趣向をこらした企画展を紹介します。この企画展が、未来のひめすいを皆さんと一緒に考える機会になればうれしく思います。



1969年から徳島県浦生田海岸のアカウミガメの産卵調査を開始（1972年7月）

開館直後の姫路市立水族館（1966年6月）

いま挑戦している調査・研究など

ひめすいでは、開館～2010年頃まではウミガメ、オオサンショウウオおよび水生昆虫を中心に飼育・調査・研究を行ってきました。2011年に水族館がリニューアルして以降は、これらに加えて、淡水魚、淡水ガメおよびカエルの飼育・調査・研究に取り組んでいます。また、自然の環境が悪化し生きものが減少する中で、絶滅危惧種の繁殖にも取り組んでいます。これからも自然や社会の情勢を見ながら、さまざまなことに挑戦していきたいと考えています。



タガメの累代繁殖（継続中）



ナゴヤダルマガエルの累代繁殖（2020年～）



オオシマドジョウの繁殖（2024年～）



淡水ガメの産卵生態調査（2016年～）

記念イベント 講演会

東京農工大学大学院の入江聖奈さんによる講演会を開催します。入江さんは2021年の東京オリンピックボクシング女子フェザー級で金メダルを獲得。現在は大学院で大好きなカエルの研究を行っています。講演会では、ご自身が挑戦してきた競技のエピソードやいま挑戦しているカエルの研究についてお話していただきます。

- 日時 令和8年8月23日（土） 13：30～15：00
- 場所 手柄山交流ステーション3階 研修室
- 定員 先着150名

入江聖奈 Profile

鳥取県米子市出身の元女子アマチュアボクシング選手。小学校2年生の時に読んだ漫画の影響で、地元のボクシングジムに入門。高校時代に全日本女子選手権（ジュニア）2連覇を果たし、国際大会では2018年世界ユース選手権で銅メダルを獲得。日本体育大学に進学後、2021年夏に開催された東京オリ



ンピックボクシング女子フェザー級で日本女子ボクシング史上初となる金メダルを獲得。試合時の戦略を「カエル」で例えたことがメディアで取り上げられ、「カエル愛」が流行語大賞にノミネートされる。全日本選手権で2連覇を達成し、2022年に競技を引退。東京農工大学大学院に進学し、大好きなカエルの研究に励んでいる。また、最近ではTV番組にも出演するなど、幅広く活躍している。



姫路市立水族館